ご案内

令和７年８月４日

令和７年度三重県建設技術センター建設技術研修

（公財）三重県建設技術センター

公益財団法人三重県建設技術センターは、地域社会の健全な発展と安全安心な住環境を実現するための人材育成に努めています。

令和７年度も建設技術研修について、技術力の向上と知識の習得を目指した専門分野と、建設、防災等の知識、意識高揚を図るための一般分野に区分して、種々の研修会を開催いたします。

今回は、下記の研修を募集いたしますので、この趣旨をご理解いただき、ご担当、関係の皆様の積極的なご参加をお願い申しあげます。

記

研修名

「　仮　設　工　」　　９月４日（木）開催

・詳細は、別紙の実施要領を参照してください。

お問い合わせ
〒514-0002 三重県津市島崎町 56 番地
（公財）三重県建設技術センター総務研修課
Tel 059-229-5624　Fax 059-229-5617

令和７年度建設技術研修　実施要領　　（一般用）

「　仮　設　工　」

1. 目的

土の基本的性質、土留め支保工の設計、施工及び監理上の留意点について、基礎的な事項を概説します。あわせて災害発生状況から、作業上において、仮設の作業環境の重要性を理解し、新しい仮設の活用効果を学び、今後のメンテナンス時代における安全と諸課題の解決につながる知識の習得を図ります。

2. 研修日：令和７年９月４日(木)　9：30～15：30

3. 研修会場：三重県総合文化センター　男女共同参画センター　2階　セミナー室Ａ
三重県津市一身田上津部田1234番地

4. 受講対象者：県、市町、公社等職員及び建設業関係社員

5. 研修内容、講師：研修スケジュール参照

6. 募集人数：40名

7. 申込方法・締切日：令和７年８月２８日(木)

(1)「研修受講申込書」（様式１）にご記入のうえ、(公財)三重県建設技術センター総務研修課あて（FAX:059-229-5617）にお申込みください。

(2) 請求書については、区分を選択してください。Web請求書をご希望される場合は、ご指定のメールアドレスにお送りさせていただきますので、お手続きをお願いします。

(3)　申込み多数の場合は、先着順に受講者を決定します。なお申込み後、受講者に変更が生じた場合、必ずご連絡してください。また申込み人数が少ない場合は中止することがあります。

8. 受講料のお支払い

(1)　受講料：　8,250円/人（うちテキスト代　1,100円）消費税10%　750円

(2)　お支払方法：　締切日までに金融機関への振込みにてお願いします。なお振込手数料はご負担ください。締切日以降のキャンセルについての返金は致しません。

金融機関名:三十三銀行津駅西支店 普通預金 No.700489

登録番号：T9190005009720　公益財団法人三重県建設技術センター　理事長　佐竹 元宏
ザイ)ミエケンケンセツギジュツセンター

9. 持参品：筆記用具、CPDS技術者データ（ＱＲコード）※希望者のみ、など

10. その他

(1) 建設系CPD単位取得対象研修の学習履歴申請を主催者が行います。CPDを希望される場合、申込書のCPD欄に○印をしてください。

・土木系：（一社）全国土木施工管理技士会連合会CPDS「5unit」
研修当日、CPDS技術者データ（QRコード）を印字し、ご持参ください。

(2) 駐車場には限りがございますので、公共交通機関をご利用ください。

(3) 受講に際し、受講票の発行は行っておりませんので、ご了承ください。

お問い合わせ
（公財）三重県建設技術センター総務研修課　　担当：塩冶・笠井
〒514-0002三重県津市島崎町56番地　TEL: 059-229-5624 FAX: 059-229-5617
ホームページ：http://www.mie-kengi.or.jp　※当日 TEL: 090-5603-6336

令和７年度建設技術研修

「 仮　設　工 」スケジュール

主　催 ：公益財団法人三重県建設技術センター
後　援：三重県県土整備部
日　時：令和７年９月４日（木）9:30～15:30
会　場：三重県総合文化センター　男女共同参画センター　２階　セミナー室Ａ

時間	（h）	内　　容	講　　師
9:30		研修受講説明、注意事項など	
9:35 12：30	3.0	**１．仮設工について** ①土の基本的性質 ②土留め支保工の設計施工 ③監理上の留意点 （概要）仮設工として土留め工について解説します。 砂質土と粘性土の基本的性質と土圧に基づいた土留め壁、土留め支保工の設計・施工の基本的事項を説明し、合わせて事故例をもとに監理上の留意点を説明します。	伊藤技術士事務所 代表　　伊藤　　功
12：30 13：30		（昼食休憩）	
13：30 15：30	2.0	**２.インフラメンテナンス時代における新しい仮設機材の活用効果** ①建設労働災害の実情 ②仮設に関連する現場の実情 ③吊足場の現状 ④業界の動き ⑤現在の吊足場の性能 ⑥システム作業構台について （概要）国土強靭化施策に関連した国土交通省をはじめとした動きを紹介しながら、仮設の創意工夫により現場の課題に対応した事例紹介を行います	全国仮設安全事業協同組合 会員　吉川　博之
15：30	5.0	研修終了、アンケート	